



2021年11月5日

各 位

会社名 株式会社ダイセル
 代表者名 代表取締役社長 小河 義美
 (コード番号 4202 東証 市場第一部)
 問合せ先 事業支援本部副本部長 (兼)
 事業支援本部 I R 広報グループ
 リーダー 廣川 正彦
 (TEL 03-6711-8121)

2022年3月期第2四半期累計期間の業績予想値と実績値との差異
 および通期業績予想の修正に関するお知らせ

2021年8月3日に公表いたしました2022年3月期第2四半期累計期間(2021年4月1日~2021年9月30日)の連結業績予想値と実績値との差異および2022年3月期通期(2021年4月1日~2022年3月31日)の連結業績予想の修正についてお知らせします。

記

1. 2022年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異(2021年4月1日~2021年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 222,000	百万円 23,000	百万円 24,000	百万円 16,000	円 銭 53.10
実績値(B)	224,817	27,259	29,835	22,046	73.15
増減額(B-A)	+2,817	+4,259	+5,835	+6,046	—
増減率(%)	+1.3%	+18.5%	+24.3%	+37.8%	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2021年3月期)	175,346	9,107	10,166	3,273	10.78

2. 2022年3月期 通期連結業績予想の修正(2021年4月1日~2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 435,000	百万円 35,000	百万円 37,000	百万円 24,000	円 銭 79.65
今回修正予想(B)	448,000	38,000	42,000	24,000	79.55
増減額(B-A)	+13,000	+3,000	+5,000	0	—
増減率(%)	+3.0%	+8.6%	+13.5%	0.0	—
(ご参考)前期実績 (2021年3月期)	393,568	31,723	34,683	19,713	65.18

3. 業績予想値と実績値の差異および通期業績予想修正の理由

当第2四半期連結累計期間の経営成績は、セイフティ事業が半導体不足による自動車減産の影響を受けたものの、化粧品原料や電子材料関連製品、エンジニアリングプラスチックなどの需要が想定より強く、販売数量の増加や製品市況の上昇、販売価格の是正などにより、売上高は想定を上回る結果となりました。加えて、徹底したコストダウンの実施などにより、利益面でも想定をさらに上回る結果となりました。

第3四半期以降、原燃料価格の上昇や半導体不足の影響など先行き不透明な状況ではありますが、第2四半期連結累計期間の経営成績、製品の需要や市況の見通し、原料燃料価格前提の見直しなどを踏まえ、2021年8月3日に公表した2022年3月期通期連結業績予想の売上高、営業利益、経常利益を上記の通り上方修正いたしました。

なお、当社では中期戦略で掲げるROICの向上を目指し、採算の低下している事業資産等の積極的な圧縮、政策保有株式の売却などを推進しています。これらにより発生が見込まれる特別損益を一定程度織り込み、親会社株主に帰属する当期純利益は業績予想を据え置いております。

- ※1. 業績予想は、現時点で入手された情報に基づき判断したものであり、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありうることをご承知おきください。
- ※2. 今回発表予想の第3四半期以降の前提につきましては、為替相場は110円/US\$、メタノールアジアスポット価格はUS\$500/ton、ドバイ原油価格はUS\$85/bbl、国産ナフサ価格は60,000円/k1を想定しております。

以 上